

授業科目名	2単位 (2－0)	担当教員					
日本国憲法 (Japanese Constitutional Law)		仲宗根 京子					
授業の到達目標及びテーマ							
そもそも法律とは別に、なぜ憲法があるのでしょうか？本講義では、日本国憲法の基本原理を学んだ上で、私達の身近にある憲法に関する具体的な問題をより深く理解することで、主権者である私達自身が、憲法の現在そして未来について考えられるようになることを目標とします。							
授業の概要							
まず、近代立憲主義が確立されてきた世界の歴史や日本国憲法が成立するまでの歴史をたどり、次に、憲法で保障されている基本的な権利の内容を具体的な事例を基に解説します。そして、基本的人権を保障するための国の仕組みや平和主義について理解を進める予定です。							
予習：配付レジュメや教科書の該当箇所を読んで来てください。							
復習：講義で指示した点を復習してください。							
授 業 計 画							
第 1 回：ガイダンス、近代立憲主義の確立、明治憲法から日本国憲法へ	第 9 回：経済的自由（財産権保障の構造他）						
第 2 回：日本国憲法の基本原理（憲法とは誰を縛るルールか？）	第 10 回：社会権（自由権とはどう違うのか？）						
第 3 回：人権総論（人権の分類、新しい人権、外国人の人権）	第 11 回：その他の人権、まとめ						
第 4 回：子供の権利	第 12 回：統治総論						
第 5 回：法の下での平等	第 13 回：国会および内閣						
第 6 回：精神的自由①内心の自由	第 14 回：裁判所						
第 7 回：②表現の自由	第 15 回：平和主義、総まとめ						
第 8 回：③検閲の禁止	第 16 回：定期試験						
テキスト： 初宿正典他著『いちばんやさしい憲法入門第 4 版』有斐閣アルマシリーズ（有斐閣）							
参 考 書： 初宿正典他著『目で見る憲法 第 4 版』（有斐閣）							
評価方法・評価基準： 期末試験の結果、授業への参加度、授業態度などから総合的に評価する。							
到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)
試験 (中間・期末試験)	○	○			○		55
小テスト・ 授業内レポート							
授業態度			○	○			25
受講者の発表		○	○		○		20
演 習							
その他							
履修上の注意：受講希望者は、必ず第 1 回目の授業に出席してください。							

授業科目名	1 単位 (1－0)	担当教員																																																								
体育理論 [Physical Education(Theory)]		音野 太志																																																								
授業の到達目標 現代社会に生きる人々や自分自身の「からだと内面（こころ）」について認識し、よりよいライフスタイルを構築できる知識と態度を養うこと。																																																										
授業の概要 授業は、アクティブラーニングの手法を用いて進めていく。 前半は、グループ毎にテーマを決め、現代の健康問題に関し調査し、模擬授業として発表を行い、各テーマに対しての学びを深める。 後半は、問題への解決方法を探り、同学年へ向けた、健康問題改善の為の取り組みをグループ毎に考案し、提案を行う。 予習：それぞれのテーマに沿った健康問題に関する情報を収集して授業に臨む。 復習：講義で感じた疑問や発見を振り返り、自身の生活と照らし合わせる。																																																										
授 業 計 画 第 1 回： コースオリエンテーション：健康とは？ 第 2 回： テーマの決定 第 3 回： グループワーク① 第 4 回： グループワーク② 第 5 回： グループワーク③ 第 6 回： 発表 第 7 回： 発表 第 8 回： 発表：結果の発表 第 9 回： 後半：テーマの決定 第 10 回： グループワーク④ 第 11 回： グループワーク⑤ 第 12 回： グループワーク⑥ 第 13 回： 発表 第 14 回： 発表 第 15 回： 発表：結果の発表																																																										
テキスト： 使用しない。講義ごとに資料を配布する。																																																										
参 考 書： 九州大学健康研究センター編『健康と運動の科学』 大修館書店他																																																										
評価方法・評価基準：レポート 40 点（中間 20 点、期末 20 点）、授業への参加度 60 点による。																																																										
<table><tr><th>到達目標等</th><th>知識・理解</th><th>思考・判断</th><th>関心・意欲</th><th>態度</th><th>技能・表現</th><th>その他</th><th>評価割合(%)</th></tr><tr><td>試験 (中間・期末試験)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>小テスト・ 授業内レポート</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>40 (20×2)</td></tr><tr><td>授業態度</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>60</td></tr><tr><td>受講者の発表</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>演 習</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	到達目標等	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)	試験 (中間・期末試験)								小テスト・ 授業内レポート	○	○	○				40 (20×2)	授業態度				○	○		60	受講者の発表								演 習								その他									
到達目標等	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)																																																			
試験 (中間・期末試験)																																																										
小テスト・ 授業内レポート	○	○	○				40 (20×2)																																																			
授業態度				○	○		60																																																			
受講者の発表																																																										
演 習																																																										
その他																																																										
履修上の注意：																																																										

授業科目名		1 単位 (0－3)	担当教員				
体育実技 [Physical Education (Sports)]			音野 太志				
授業の到達目標							
1) スポーツの楽しさ、喜びを味わうこと。 2) スポーツに対して、「真剣に」「コミュニケーションを図りながら」実践することを通し、諸課題を解決しながら、個人またはグループの成長プロセスに介入できるようになること。							
授業の概要							
ドッジビー、ソフトバレーボール、バスケットボールを取りあげる。毎授業では練習と試合を実施する。 個人とグループの諸課題について、1)実践 2)ふりかえり 3)次の課題設定 4)実践というプロセスを繰り返すことによって、個人またはグループの成長プロセスを考える機会とする。 予習：体調を整えて授業に備える。 復習：授業内容を振り返り、次の授業に備える。							
授 業 計 画							
第 1 回：コースオリエンテーション (授業概要、目標、成績評価方法、等)		第 9 回：ソフトバレーボール 練習、ゲーム					
第 2 回：イニシアティブゲーム		第 10 回：ソフトバレーボール 練習、ゲーム					
第 3 回：ドッジビー： 練習、ゲーム		第 11 回：ソフトバレーボール 練習、ゲーム					
第 4 回：ドッジビー：アルティメット 練習、ゲーム		第 12 回：バスケットボール 練習、ゲーム					
第 5 回：ドッジビー：アルティメット 練習、ゲーム		第 13 回：バスケットボール 練習、ゲーム					
第 6 回：ドッジビー：アルティメット 練習、ゲーム		第 14 回：バスケットボール 練習、ゲーム					
第 7 回：ドッジビー：アルティメット 練習、ゲーム		第 15 回：バスケットボール 練習、ゲーム					
第 8 回：ソフトバレーボール 練習、ゲーム							
テキスト： 使用しない。							
参 考 書： 特になし							
評価方法・評価基準：授業への参加度 60 点 技能評価 40 点 計 100 点による。							
到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)
試験 (中間・期末試験)							
小テスト・ 授業内レポート				○	○		40
授業態度							
受講者の発表							
演 習							
授業への参加度		○		○	○		60
その他							
履修上の注意：							
1) 体育館用のシューズを準備し、運動にふさわしいウェアで参加すること。 2) 金属製のピアス、ネックレス、ブレスレット等、人を傷つけ、傷つけられる恐れのあるモノは外すこと。 3) その他の注意事項は初回授業時に伝達する。							

授業科目名	2単位 (0-2)	担当教員
中国語 I (Chinese I)		武村 朝吉

授業の到達目標及びテーマ

中国語の発音（声調コントロールを含む）の基礎を習得する。基本的な文法事項を理解（約 60 個の文型を習得）し、初級レベルの中国語の会話文が読め、簡単な作文と会話ができることを目標とする。

授業の概要

中国語のピン音（発音記号）の概要を説明すると同時に、個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習を行う。それに引き続き、基本的な文法事項を学習し、その応用として、会話練習、作文練習を行う。総合中国語 I では、テキストの第 1 課から第 10 課までを学習する。

予習：授業内容を事前に目を通しておくこと。

復習：ピンイン、簡体字の書き取り練習を行うこと。

授 業 計 画

第 1 回： 中国語の発音、ピン音、声調	第 9 回： 提案の仕方、“有”文
第 2 回： 発音練習、ピン音書き取り練習	第 10 回： 介詞構造
第 3 回： “吗”を用いた疑問文	第 11 回： 時間詞
第 4 回： 疑問代名詞を用いた疑問文	第 12 回： 連動文
第 5 回： 形容詞述語文	第 13 回： 連用修飾語
第 6 回： 動詞述語文	第 14 回： 方位詞
第 7 回： 所属・所有関係を表す連体修飾語	第 15 回： 反覆疑問文
第 8 回： “是”文、名詞述語文	第 16 回： 期末試験

テキスト： 『漢語会話 301 句』康玉華、来思平、北京言語大学出版社

参 考 書：

評価方法・評価基準：

成績評価	到達目標等	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)
試験 (中間・期末試験)		○	○			○		80
小テスト・ 授業内レポート								
授業態度 授業への参加度				○	○	○		10
受講者の発表		○		○	○	○		10

履修上の注意：相互（学生⇔教師、学生⇔学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。5 回以上欠席で「不可」とする。

授業科目名	2単位 (0-2)	担当教員
中国語Ⅱ (ChineseⅡ)		武村 朝吉

授業の到達目標及びテーマ

中国語の発音（声調コントロールを含む）の正確な発声方法を習得する。基本的な文法事項を理解（60個の文型を習得）し、初級レベルの中国語の会話文が読める、簡単な作文と平易な日常会話ができることを目標とする。

授業の概要

個々の発音・声調の具体的発声方法の十分な練習も継続しつつ、十分な時間をかけ各課を学習する。各課の学習においては、基本的な文法事項の学習に続き、その応用として、簡単な日常会話の練習と作文練習を行う。

予習：授業内容を事前に目を通しておくこと。

復習：ピンイン、簡体字の書き取り練習を行うこと。

授 業 計 画

第1回： 中国語Ⅰの復習	第9回： “还没（有）…呢”（完了の否定）
第2回： 文末の語気助詞“了”	第10回： 選択疑問文
第3回： 動詞の重ね型、主述述語文	第11回： 動作の手段を表す連動文
第4回： 能願動詞、二重目的語文	第12回： 方向補語
第5回： 連体修飾語としての数量詞	第13回： “要…了”、“是…的”、“从”の用法
第6回： 兼語文、“是”文（2）	第14回： 同量補語
第7回： 結果補語、介詞“给”	第15回： 連体修飾語としての動詞・動詞構造・主述構造
第8回： 動態助詞“过”、無主語文	第16回： 期末試験

テキスト： 『漢語会話 301 句』康玉華、来思平、北京言語大学出版社

参 考 書： 中日辞典

評価方法・評価基準：

到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)
試験 (中間・期末試験)	○	○			○		80
小テスト・ 授業内レポート							
授業態度 授業への参加度			○	○	○		10
受講者の発表	○		○	○	○		10
その他							

履修上の注意：相互（学生⇔教師、学生⇔学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。5回以上欠席で「不可」とする。

授業科目名	2単位 (0-2)	担当教員
韓国語 I (Korean I)		金 永秀

授業の到達目標及びテーマ

ハングルの読み書きの基礎を身につけ、簡単な会話をすることができる。

授業の概要

ハングルの基礎から、簡単な会話と読み書きの習得を目的とする。CD による発音の練習を行い。実際に使われている音声に慣れる。日常会話で最もよく使われる基本的な単語を使用し、実際の例文を使って反復練習をおこなう。あいさつ、感情表現、自己紹介、旅行に必要な会話、暦やお金の数え方など、交流に必要な最低限の語学力の習得ができる内容とする。韓国人の特別ゲストを招いて、実際の場面を想定した練習を、できるだけ多くおこなう。又、簡単な民謡、歌謡曲を数曲覚える。

予習：次の講義について予習すべきことを毎回告知する。

復習：その日の講義で学んだことを自宅で復習することを指示

授 業 計 画

第 1 回：	コースガイダンス、韓国と日本、沖縄について。	第 8 回：	これは何ですか。
第 2 回：	ハングルの読み方と書き方。 (1) 母音	第 9 回：	生活用品と存在詞
第 3 回：	ハングルの読み方と書き方。 (2) 子音	第 10 回：	家族関係。
第 4 回：	ハングルの読み方と書き方。 (3) パッチムについて。	第 11 回：	位置関係。
第 5 回：	自己紹介と関連文法	第 12 回：	漢字の読み方と使い方
第 6 回：	挨拶と自己紹介 (国、職業)	第 13 回：	韓国の歌の表現
第 7 回：	挨拶 (2) 疑問文。— 関連する文法	第 14 回：	韓国の映画の表現
		第 15 回：	まとめ
		第 16 回：	期末テスト

テキスト： 『韓国語を学ぼう』初級（前半）

参 考 書： 民衆 韓日辞典

評価方法・評価基準：

適宜行うショートテストと、期末テストの結果を主として評価するが、授業態度、授業への参加度も参考にする

到達目標等	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合 (%)
成績評価 試験 (中間・期末試験)	○						100
小テスト・ 授業内レポート							
授業態度							
受講者の発表							
演 習							
その他							

履修上の注意：

語学は、反復が大切である。講義内容の復習を重点的にするために、家庭での復習を充分にすること。確認のため適宜、ショートテストを行う。

授業科目名	2単位 (0－2)	担当教員
韓国語Ⅱ (KoreanⅡ)		金 永秀

授業の到達目標及びテーマ
会話に必要な文法の基礎を身につける

授業の概要
韓国語Ⅰの単位取得者もしくはそれと同等の語学力を持つものを対象にする。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なハングル文書の講読が可能になるまでの語学力の習得を目的とする。ハングルで、韓国の地理、人口、生活と、ある程度の韓国の文化理解をし、日本及び、沖縄のことがある程度紹介できるようにする。ハングルは、漢字を多く使用することによって成立しており、漢字語を利用することにより語彙力の増強をはかる。韓国で流行している歌謡曲にも挑戦する。韓国人の特別ゲストを招いて韓国生活文化を学んだりもする。 予習：次回の講義の予習すべきことを毎回告知する。 復習：その日の講義で学んだことを自宅で復習。

授 業 計 画																																	
<table><tr><td>第1回：</td><td>韓国語と日本語の関係</td></tr><tr><td>第2回：</td><td>食事についての会話と関連事項（1）</td></tr><tr><td>第3回：</td><td>食事についての会話と関連事項（2）</td></tr><tr><td>第4回：</td><td>天候についての会話と関連文法事項（1）</td></tr><tr><td>第5回：</td><td>天候についての会話と関連文法事項（2）</td></tr><tr><td>第6回：</td><td>買い物についての会話と関連文法事項（1）</td></tr><tr><td>第7回：</td><td>買い物についての会話と関連文法事項（2）</td></tr><tr><td>第8回：</td><td>交通についての会話と関連文法事項（1）</td></tr></table>	第1回：	韓国語と日本語の関係	第2回：	食事についての会話と関連事項（1）	第3回：	食事についての会話と関連事項（2）	第4回：	天候についての会話と関連文法事項（1）	第5回：	天候についての会話と関連文法事項（2）	第6回：	買い物についての会話と関連文法事項（1）	第7回：	買い物についての会話と関連文法事項（2）	第8回：	交通についての会話と関連文法事項（1）	<table><tr><td>第9回：</td><td>交通についての会話と関連文法事項（2）</td></tr><tr><td>第10回：</td><td>会社事務所での会話と関連文法事項</td></tr><tr><td>第11回：</td><td>会社事務所での会話と関連文法事項</td></tr><tr><td>第12回：</td><td>家庭生活についての会話と関連文法事項</td></tr><tr><td>第13回：</td><td>韓国の歌</td></tr><tr><td>第14回：</td><td>韓国の映画</td></tr><tr><td>第15回：</td><td>まとめ</td></tr><tr><td>第16回：</td><td>期末テスト</td></tr></table>	第9回：	交通についての会話と関連文法事項（2）	第10回：	会社事務所での会話と関連文法事項	第11回：	会社事務所での会話と関連文法事項	第12回：	家庭生活についての会話と関連文法事項	第13回：	韓国の歌	第14回：	韓国の映画	第15回：	まとめ	第16回：	期末テスト
第1回：	韓国語と日本語の関係																																
第2回：	食事についての会話と関連事項（1）																																
第3回：	食事についての会話と関連事項（2）																																
第4回：	天候についての会話と関連文法事項（1）																																
第5回：	天候についての会話と関連文法事項（2）																																
第6回：	買い物についての会話と関連文法事項（1）																																
第7回：	買い物についての会話と関連文法事項（2）																																
第8回：	交通についての会話と関連文法事項（1）																																
第9回：	交通についての会話と関連文法事項（2）																																
第10回：	会社事務所での会話と関連文法事項																																
第11回：	会社事務所での会話と関連文法事項																																
第12回：	家庭生活についての会話と関連文法事項																																
第13回：	韓国の歌																																
第14回：	韓国の映画																																
第15回：	まとめ																																
第16回：	期末テスト																																

テキスト：『韓国語を学ぼう』初級（後半）	参 考 書：民衆 韓日辞典
----------------------	---------------

評価方法・評価基準：																																																								
適宜行うショートテストと、期末テストの結果を主として評価するが、授業態度、授業への参加度も参考に する。																																																								
<table><tr><td>到達目標等 成績評価</td><td>知識・理解</td><td>思考・判断</td><td>関心・意欲</td><td>態度</td><td>技能・表現</td><td>その他</td><td>評価割合（%）</td></tr><tr><td>試験 （中間・期末試験）</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100</td></tr><tr><td>小テスト・ 授業内レポート</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>授業態度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>受講者の発表</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>演 習</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合（%）	試験 （中間・期末試験）	○						100	小テスト・ 授業内レポート								授業態度								受講者の発表								演 習								その他							
到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合（%）																																																	
試験 （中間・期末試験）	○						100																																																	
小テスト・ 授業内レポート																																																								
授業態度																																																								
受講者の発表																																																								
演 習																																																								
その他																																																								

履修上の注意：
語学は、反復が大切である。講義内容の復習を重点的にするために、家庭での復習を充分にすること。確認のため適宜、ショートテストを行う。

授業科目名	2単位 (0-2)	担当教員
スペイン語 I		武村 朝吉

授業の到達目標及びテーマ

スペイン語の発音、リズムに慣れ親しみ、基本的な文法を理解する。それによって、平易な会話を習得し、実際に使ってみる。

授業の概要

スペイン語の文字・発音について概説した後、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて着実に平易な会話ができる基盤を構築してゆく。また、文字の数え方、日時、曜日の言い方等、平易な日常会話で頻出する表現を練習する。

また、スペイン圏諸国についての紹介も行う。

予習：文法事項を理解しておくこと。

復習：授業内容が理解できているか確認し、単語のスペルを書き取り練習すること。

授 業 計 画

第 1 回： スペイン語の発音と表記法	第 9 回： 時刻の言い方
第 2 回： 名詞、定冠詞、不定冠詞	第 10 回： 曜日と月、昨日、今日、明日
第 3 回： 形容詞、動詞 ser と estar	第 11 回： 単位、長さ、重さ、容積
第 4 回： 肯定文と否定文、前置詞	第 12 回： 規則動詞の活用
第 5 回： 所有形容詞	第 13 回： 規則動詞の活用練習
第 6 回： 指示詞	第 14 回： 不規則動詞の活用
第 7 回： 数の数え方、	第 15 回： 不規則動詞の活用の練習
第 8 回： 分数、序数、	第 16 回： 期末試験

テキスト： 『スペイン語をはじめよう！』大岩功 著，すばる舎

参 考 書： 西和辞典

評価方法・評価基準：

到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)
試験 (中間・期末試験)	○				○		80
小テスト・ 授業内レポート							
授業態度・ 授業への参加度			○	○	○		10
受講者の発表	○		○	○	○		10
その他							

履修上の注意：

相互（学生⇔教師，学生⇔学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。5回以上欠席で「不可」とする。

授業科目名	2単位 (0-2)	担当教員
スペイン語Ⅱ		武村 朝吉

授業の到達目標及びテーマ

スペイン語の発音、リズムに慣れ親しみ、基本的な文法を理解する。それによって、平易な会話を習得し、実際使ってみて、その感覚を蓄積する。

授業の概要

スペイン語Ⅰの復習を行いつつ、基本的な文法事項を学習し、十分な練習を重ねて着実に平易な会話ができる基盤を構築してゆく。その上で、平易な日常会話ができるよう練習を行う。

また、スペイン圏諸国についての紹介も行う。

予習：文法事項を理解しておくこと。

復習：授業内容が理解できているか確認し、単語のスペル書き取りを練習すること。

授 業 計 画

第1回： スペイン語Ⅰの復習	第9回： 副詞、疑問詞
第2回： 目的語「を格」と「に格」	第10回： 関係詞
第3回： 向き違いの動詞	第11回： 否定語と不定語
第4回： 再起動詞	第12回： 未来形
第5回： 過去分詞とその用法	第13回： 点過去形、線過去形
第6回： 現在完了形	第14回： 過去完了形、過去未来形
第7回： 現在分詞とその用法	第15回： 接続法現在、接続法過去形
第8回： 比較の表現	第16回： 期末試験

テキスト： 『スペイン語をはじめよう！』 大岩功 著，すばる舎

参 考 書： 西和辞典

評価方法・評価基準：

到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)
試験 (中間・期末試験)	○				○		80
小テスト・ 授業内レポート							
授業態度・ 授業への参加度			○	○	○		10
受講者の発表	○		○	○	○		10
その他							

履修上の注意：

相互（学生⇄教師，学生⇄学生）の尊重。食べ物・飲み物の持ち込み、無断外出、授業中の携帯使用禁止。外国語習得には十分な練習の蓄積が欠かせないので、欠席を慎み、かつ十分な復習を行うよう努めること。5回以上欠席で「不可」とする。

授業科目名	2単位 (0－2)	担当教員																																																													
コンピュータ基礎演習Ⅰ (Basic ComputingⅠ)		糸洲 理子																																																													
授業の到達目標及びテーマ PCの基礎的操作方法を習得させるものであるが、具体的にはワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の分析方法、基礎的なデータベースソフトの活用方法などを実践的に修得すること																																																															
授業の概要 コンピューター操作の基本的な知識・技能を習得し、究極的には情報を自由に検索、享受、処理、加工、創造、発信が行えるような情報リテラシーを育て、コンピューターを日常使いこなせるための基礎を学ぶ。また、情報化社会へ参画する姿勢についても学ぶ。 予習：次回の内容予告を受け、基礎的な専門用語などを調べておくこと。 復習：授業でおこなった技法を自ら応用してみること																																																															
授 業 計 画 第 1 回： オリエンテーション：①パソコンの概念 ②使用登録・パスワードの設定 ③電子メールの設定 第 2 回： パソコンの概念：①Windowsの基本操作 ②OSの基本操作 ③インターネット 第 3 回： Word2007：①Wordの基本操作 ②文章の作成保存 第 4 回： Word2007：①文章のデザイン 第 5 回： Word2007：①書式の応用 第 6 回： Word2007：①表示能力を高める ②オブジェクトの挿入 第 7 回： Excel2007：①基本操作 ②一覧表の作成 第 8 回： Excel2007：①グラフの作成 ②グラフのデザインおよびレイアウト 第 9 回： Excel2007：①グラフのデザイン 第10 回： Excel2007：①グラフのレイアウト 第11 回： パワーポイント①プレゼンテーションとは 第12 回： ①スライドの作成 第13 回： ①アニメーションの操作 第14 回： ①プレゼンテーションの発表 第15 回： ①プレゼンテーション評価 第16 回： SNSの応用																																																															
テキスト：教材は、そのたびに講義担当者が準備する																																																															
参 考 書：講義でそのつど提示する。																																																															
評価方法・評価基準：課題の提出 授業でのプレゼンテーションなどへの参加度及び授業に臨む姿勢																																																															
<table><tr><td>到達目標等 成績評価</td><td>知識・理解</td><td>思考・判断</td><td>関心・意欲</td><td>態度</td><td>技能・表現</td><td>その他</td><td>評価割合(%)</td></tr><tr><td>試験 (中間・期末試験)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>小テスト・ 授業内レポート</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>授業態度</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>20</td></tr><tr><td>受講者の発表</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>演 習</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>80</td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)	試験 (中間・期末試験)								小テスト・ 授業内レポート								授業態度	○	○	○	○	○		20	受講者の発表								演 習	○	○	○	○	○		80	その他														
到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)																																																								
試験 (中間・期末試験)																																																															
小テスト・ 授業内レポート																																																															
授業態度	○	○	○	○	○		20																																																								
受講者の発表																																																															
演 習	○	○	○	○	○		80																																																								
その他																																																															
履修上の注意：各自 USB メモリーを準備すること																																																															

授業科目名	2単位 (0－2)	担当教員																																																								
マルチメディア演習 (Multi-media Applications)		金城 豪																																																								
授業の到達目標及びテーマ コンピュータ、及び付属するソフトウェアの一步上を行く使用法や知識を獲得する。 また、世界に向けて情報を発信するための技術を身に付ける。																																																										
授業の概要 コンピュータの基本的操作法を習得したことを前提に、次の段階としてネットワーク社会におけるコンピュータを考えます。Web ページ作成を通して、マルチメディア ファイルの取り扱い方、種々のソフトウェア利用技術を学習します。また演習と並行して、実社会の事例を紹介しながら情報技術の発達と高度情報化社会の諸問題についても理解を深めます。 予習：毎回次の講義内容を指示するので、各自テキスト等を使用して事前に講義を受ける準備をしておくこと。 復習：講義内容を再確認し、与えられた課題を指示通りに実行し確実に提出できるように努めること。																																																										
授 業 計 画																																																										
第 1 回： 情報社会への歩み	第 9 回： マルチメディアファイルについて																																																									
第 2 回： 生活環境におけるコンピュータの位置づけ	第 10 回： マルチメディアファイルを扱う（1）																																																									
第 3 回： 高度情報通信網	第 11 回： マルチメディアファイルを扱う（2）																																																									
第 4 回： インターネットの仕組み	第 12 回： Web ページ作成（1）																																																									
第 5 回： HTMLとは	第 13 回： Web ページ作成（2）																																																									
第 6 回： HTML 演習	第 14 回： Web ページ作成（3） 提出																																																									
第 7 回： ファイルの管理	第 15 回： 課題発表会																																																									
第 8 回： メモリーの概念																																																										
テキスト： 「情報の表現と管理」伏見正則著																																																										
参 考 書： 特になし																																																										
評価方法・評価基準：授業への参加度、課題提出状況、受講態度などを総合的に判断して評価します。																																																										
<table><tr><th>到達目標等 成績評価</th><th>知識・理解</th><th>思考・判断</th><th>関心・意欲</th><th>態度</th><th>技能・表現</th><th>その他</th><th>評価割合(%)</th></tr><tr><td>試験 (中間・期末試験)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>評価に加えず</td></tr><tr><td>小テスト・ 授業内レポート</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>40</td></tr><tr><td>授業態度</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>10</td></tr><tr><td>受講者の発表</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>評価に加えず</td></tr><tr><td>演 習</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>40</td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td>10</td></tr></table>	到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)	試験 (中間・期末試験)							評価に加えず	小テスト・ 授業内レポート	○	○			○		40	授業態度			○	○			10	受講者の発表							評価に加えず	演 習	○	○			○		40	その他			○				10		
到達目標等 成績評価	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合(%)																																																			
試験 (中間・期末試験)							評価に加えず																																																			
小テスト・ 授業内レポート	○	○			○		40																																																			
授業態度			○	○			10																																																			
受講者の発表							評価に加えず																																																			
演 習	○	○			○		40																																																			
その他			○				10																																																			
履修上の注意： 各自USBメモリを準備すること。																																																										